

ラダー評価表 ラダーS-1

氏名

評価日 年 月 日

4: 現ラダー以上ことが出来る 3: できる
2: ほぼできる 1: 到達までには課題がある

レベルIの定義		より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しOLを高めるための看護を実践する						
項目	【レベル毎の目標】	【行動目標】	実際例	成果と評価できる行動	自己評価			他者評価
					/	/	/	
ニーズをとらえる力	やケアの意味の受け手や状況（場）の関連	□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる	患者を取り巻く多様な人々がもつ情報の重要性を理解し、情報収集できる	4 3 2 1				
			患者と家族(または患者を取り巻く人々)の価値観とすり合わせ、多角的な側面からニーズをとらえることができる	4 3 2 1				
		□ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる	複眼的な視点から迅速に患者の状況をとらえ判断し、複雑な状況や多様なニーズをとらえ、必要な介入を判断できる。	4 3 2 1				
			患者に対し、疾患の予後と治療による影響や退院後の生活を予測できる	4 3 2 1				
			患者から症状の訴えがあった場合、原因としてあらゆることを想定し、患者の体内で起こっている現象を考えながら観察を行い、アセスメントができる	4 3 2 1				
ケアする力	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する	□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる	どのような複雑な背景や状況にあっても、最適なケアをすることができる。	4 3 2 1				
			コミュニケーションに長けており、各患者に最適な対応ができる。	4 3 2 1				
			患者に対し、疾患の予後と治療による影響と患者の生活を考慮しながら対応できる	4 3 2 1				
			患者の複雑なニーズに対応するため、あらゆる知見を用いることができる	4 3 2 1				
		□複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる	患者に対して指導をする場合、予測的な視野を持ちながら、患者の反応に応じて段階的に説明することができる	4 3 2 1				
			患者の思いや理解度を確認しながら、対処方法や予防方法を説明することができる	4 3 2 1				
			患者の希望に沿った生活が困難な状況であっても、患者の希望や価値観、尊厳を尊重できる	4 3 2 1				
			患者の希望に沿った、新たな生活の可能性を広げるケアを提案する	4 3 2 1				
			急変時には、複雑な病態の患者においても、原因や今後の展開を予測できる	4 3 2 1				
			患者及び家族(または患者を取り巻く人々)への対応と今後への準備ができる	4 3 2 1				
協働する力	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種間の力を引き出し連携に活かす	□複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる	退院支援において、患者の退院後の生活を予測できる	4 3 2 1				
			診療報酬などの社会制度も理解した上での調整ができる	4 3 2 1				
			多職種との連携において、病院内だけでなく病院外との調整ができる	4 3 2 1				
			退院支援において、多様化する退院後の生活の場について、主体的にケアマネジャーと調整できる	4 3 2 1				
		□多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる	多職種間の連携においては、患者に関わることのできるような連携を促進することができる	4 3 2 1				
			カンファレンスにおいては、連携が促進されるようファシリテートすることができる	4 3 2 1				
			患者に対し、起こりうる課題を予測して専門・認定看護師などの専門家の関わりを提案し調整することができる	4 3 2 1				
			多職種間の連携においては、各職種が役割を効果的に発揮できるよう、各職種の役割を明確化できる	4 3 2 1				
			退院支援において、訪問看護の調整について、窓口や方法等について理解し知識を深めることができる	4 3 2 1				

